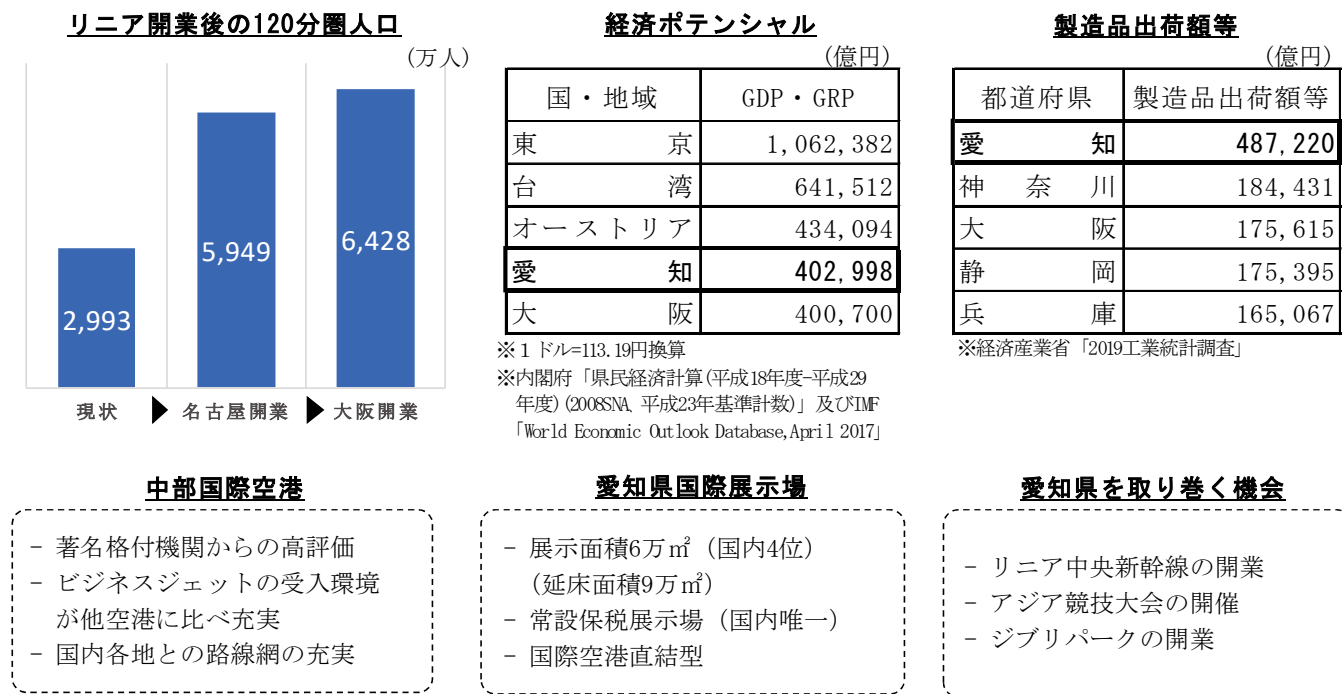


# 2020年度 国際観光都市機能整備調査事業 報告書概要

中部国際空港やその周辺エリアにおいて「MICE を核とした国際観光都市」の実現を目指し、魅力ある機能整備の具体化に向けた調査・検討を行った。

## 1 愛知県及び中部国際空港エリアのポテンシャル

- 当地のポテンシャルを裏付ける指標や要素を調査した。主には以下のとおり。



## 2 「MICE を核とした国際観光都市」のあるべき姿

- 1 及びこれまでの調査を踏まえ、「MICE を核とした国際観光都市」のあるべき姿とその実現により期待される効果を整理した。

### MICE を核とした国際観光都市

<p style="text-align: center;"><b>アジア有数のMICE開催地</b></p> <p>ハイレベルな国際会議・展示会など数多くのMICEが開催され、日本各地・世界各国から多くの人々が来訪</p>	<p style="text-align: center;"><b>空港隣接立地を生かした周遊型・滞在型観光の拠点</b></p> <p>当地域を拠点とし、空港を始め優れた交通ネットワークを利用して、MICE来場者や訪日外国人旅行者が県内・全国各地を訪問</p>
<p style="text-align: center;"><b>国際的な知名度向上と地域が誇れるエリア</b></p> <p>世界レベルのエンターテインメントの開催や誰もが楽しめる空間の創出により、地域の国際的な知名度を向上させ、新たな誇りを創出</p>	<p style="text-align: center;"><b>最先端技術を取り込んだ未来都市</b></p> <p>交通、物流、エネルギーなどの各分野で最先端技術を活用し、世界に先駆けた未来都市のショーケースを実現</p>

## 3 民間事業者へのヒアリング

- 主に、以下のような意見が得られた。
  - ・世界的に有名な展示会を誘致するには、「その場所に行って楽しい」という + α の要素や、幅広い水準の宿泊施設や飲食サービスの機能が必要。
  - ・先端技術の活用はMICE誘致や、MICE参加者向けの観光需要喚起に資する。
  - ・「国際会議のあり方」や「インバウンドの見通し」などに対する、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点で見通すことは難しい。

## 4 「MICE を核とした国際観光都市」の実現に向けた方策と課題

### <方策>

- Aichi Sky Expoに加え、ハイレベルな国際会議場、宿泊施設及びエンターテインメント施設を一体的に整備することにより相乗効果を発現
- MICE、航空、空港、観光などの関係者間の連携によるMICE誘致促進の取組 (例: PEO<sup>※</sup>等へのプロモーション、専用入国レーンなど空港利用における優遇措置、MICE来場者向けチャーター便の運航など) ※ Professional Exhibition Organizer=展示会企画業者
- 周遊観光拠点としての機能整備 (例: 先端技術を用いた観光案内所の整備、県内に留まらない日本の各地域との連携、昇龍道の更なる活用など)
- 地域の特色を生かした観光施設や文化・芸術鑑賞の場の整備 (例: 産業観光施設の整備、歴史文化をテーマにしたイベントの誘致など)
- 最先端技術・サービスの社会実装化による訪問者への高い利便性の提供 (例: 自動運転、OneID<sup>※</sup>の促進、スマートエネルギーなど) ※ パスポート・搭乗券・顔データ等の生体情報を紐づけた認証用のデータ

### <課題>

- MICE・航空・空港・観光など、他分野に跨がる連携と運営体制の確立
- 周遊先の新たな魅力の創出、各地域との連携における事業体制の確立
- 持続的な収益確保、近隣施設との連携、混雑・渋滞対策
- 法規制、技術、資金調達におけるハードル

- 引き続き新型コロナウイルス感染症に係る動向を注視し、検討を継続していく必要がある。